

FJ 1200

1986年 / 市販車

1984年に発売されたFJ1100は、各社が最高速を競っていた時代、

空冷4サイクルDOHC16バルブ並列4気筒のエンジンで最高出力125ps、0～400mを

10.43秒、最高速度235Km/hに達し、当時の世界最速に輝いた。

シャープでクリーンな連続面により構成されたデザインによって、高速ツアラーとしての高性能な印象を与えつつ、ツーリングシーンだけでなく、様々なヨーロッパの街並みに溶け込む洗練された優美な印象を併せ持つデザインとなっている。

排気量が1188ccに上げられ130psとなった1986年のFJ1200では、当時の空冷エンジンとしては国内最大となり、空力性能を向上させるためのビルトインウインカーを採用したフロントカウルのデザインによって、フラッグシップモデルとしての正常進化を表現した。

1984 FJ1100 レンダリングスケッチ



FJ1200 レンダリングスケッチ

